

## メッセージアウトライン

### 詩篇 34:1～10 「主のすばらしさを味わい、これを見つめよ」

ダビデがアビメレクの前で気が違ったかのようにふるまい、彼に追われて去ったとき

→ I サムエル 21:10~15

「アビメレク」…ガテのペリシテ人の王の称号。名はアキシユという。→ I サムエル 21:10  
ガテはエルサレムから南西に50kmほど下った地中海に近いペリシテ人の町。当時イスラエル人とペリシテ人との間には常に戦いがあった。ダビデはイスラエル人の初代の王サウルの部下としてペリシテ人討伐に活躍し、ペリシテ人の代表戦士であった巨人ゴリヤテを倒した。→ I サムエル 17章

それゆえ彼が狂人の真似をしたとはいえ、生きてそこから逃れられたということは全く主なる神の恵み、守り、力によるものであった。それゆえダビデは心から主への賛美をするのである。

[1-3] 「私はあらゆるときに主をほめたたえる。私の口には、いつも、主への賛美がある。私のたましいは主を誇る。貧しい者はそれを聞いて喜ぶ。私とともに主をほめよ。共に、御名をあがめよう」

賛美は「あらゆるときに」また「いつも」なされるべきものである。主が私たちの全生涯にわたって恵みを与えてくださっていることを考えるとき、私たちの主への賛美はここで言われているごとく、「あらゆるときに、いつも」していくことが大切。今、私たちは新型コロナウイルス感染症という大きな危機の渦中にあるが、それでもなお主から受けているさまざまな恵みを覚えて、主を賛美し感謝することができる。

ダビデは口だけではなく、心から、たましいから主を誇りとする。

「貧しい者」…高慢ではなく、心の砕かれた、神に信頼する人。ダビデと思いを同じくするこのような人々は主を誇るという彼の告白を聞いて大いに励まされ喜ぶのである。そしてダビデは彼らに、共に、御名をあがめようと招く。

[4-5] 「私が主を求めると、主は答えてくださった。私をすべての恐怖から救い出してください。彼らが主を仰ぎ見ると、彼らは輝いた。『彼らの顔ははずかしめないでください。』」

さまざまな不安、恐れ、動揺、死の危険等々。ダビデはこのような多くの経験をしていたが、それらがどのようなものであっても主は救い出してください。それゆえこれは机上の空論ではなく彼の実体験から出ている確信なのである。「主を仰ぎ見る」…主の恵みを求める信仰の行為。主を信じる者たちがダビデと同様に信仰を持って主を仰ぎ見、恵みを求めた時、彼らは失望することなく、その顔は輝いた。つまり主が恵みをもって答えてくださったのである。→ピリピ 4:6~7

「彼らの顔ははずかしめないでください」…原文は「彼らの顔ははずかしめられない」

[6-7]「この悩む者が呼ばわったとき、主は聞かれた。こうして、主はすべての苦しみから彼らを救われた。主の使いは主を恐れる者の回りに陣を張り、彼らを助け出される」

「この悩む者」…2節の「貧しい者」と同じ。信仰を持つ者もその信仰のゆえに、この世で生きていく時にさまざまな苦しみの中に置かれ悩むこと、悩まされることがある。しかし、彼らが主に向かって助けを呼ばれる時、主は聞かれ、すべての苦しみから救い出されるのである。それゆえ信仰者は困難な現状や環境を憂え嘆くのではなく、主に助けを呼び求めることが大切である。

「…主の使いは…陣を張り、彼らを助け出される」→Ⅱ列王記 6:16~17,19:35,ヘブル 1:14 [8-10]「主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ。彼に身を避ける者は。主を恐れよ。その聖徒たちよ。彼を恐れる者には乏しいことはないからだ。若い獅子も乏しくなって飢える。しかし、主を尋ね求める者は良いものに何一つ欠けることはない」

単なる知的、観念的な理解ではなく、個人的体験として、主のすばらしさを味わい、見つめることの勧め。

そして、幸いなのは地位や権力の中にいる人ではなく、このように主のすばらしさを味わい、主に身を避ける人なのである。「主を恐れる」とは信仰的な畏敬の念を持つこと。そのように主を恐れる者には乏しいことはない。必要な一切のものは備えられる。→マタイ

### 6:30~33

「若い獅子」とはこの世の力ある者たちを指して言っている。そのような者たちもさまざまな欠けを覚えるようになる。しかし、主を尋ね求め、呼び求め、主のもとに一切の願い事を持って行く人は何一つ良いものにかけることはない。

私たちが主の前に静まって、この一年を感謝しつつ、主のすばらしさを味わい、これを見つめる者となり、そして新しい一步を踏み出していく者になりたい。